

Q

(福垣内議員)

予防介護事業の実施とその成果はどうか。



A

現在は「太極拳」で実施しているが、より効果的な事業について今後も検討していく。(内田福祉課長)

このことから、誰でもどこでも手軽にでき、全身の運動機能の向上が見込まれる「太極拳」の教室をミニデイホームなどで実施している。今後も介護予防事業については他市町村の実施状況などを参考に、効果的な事業内容・実施方法を検討していきたい。

Q

高齢者筋力トレーニング事業については、町内及び近隣の介護保険施設への委託で実施予定であったが、施設側の人員的な問題等により未実施の状況である。また全国的にトレーニングの傾向が、「筋力の活性化」から「全身の運動機能の活性化」へと変化してきている。

Q

熊野町では、要介護状態になることを予防するための事業として、平成17年度に「高齢者筋力向上トレーニング事業」を試行事業として取り入れ、介護予防に対する有効性の評価、事業実施の検討を行う目的で事業費を23万円予算化している。この事業についての現在の進捗状況と、効果のあった町民の具体的な例を問う。



ミニデイホーム（城之堀）の太極拳教室の様子。

Q

(福垣内議員)

廃プラ問題のその後の進捗は。



A

町の処理分担量も決まり、今年度中には処分ができる見込みである。(平町民生部長)

Q

これまで関係14団体が4回の会合を持ち対応を協議してきたが、最終的には各団体個々で処分することに決定。当町は、処理委託済み相当分530トンを担当処理することとなった。処理は、積み、運搬、リサイクル処理を基本とするが、劣化が激しくリサイクル不可能なものは安芸クリーンセンターにて焼却処分することとなる。
処理費用は1千万円弱となる見込みであり、入札・契約後、今年度中には処分を終了する予定である。また、契約不履行による損害賠償請求については、町の顧問弁護士を通して財産仮差押手続きの準備に入ったところである。

Q

リサイクルするために処理委託した廃プラスチックが放置されていた問題で、自治体14団体が問題解決に向け協議をされていると思うが、呉市分は早々と回収し焼却処分するようである。熊野町その後の進捗はどうか。またその再処分にかかる費用はどの程度かかる見込みなのか。